

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回 次期総合計画等策定委員会
開催日時	令和7年6月6日(金) 午後1時00分から午後2時00分まで
開催場所	和泉市役所 3A・3B会議室
出席者	【出席者】 森吉副市長、吉田副市長、大槻教育長、並木参与、 米田危機管理課長（危機管理部長代理）、前田市長公室長、土本総務部長、 山崎環境産業部長、西川福祉部長、立花市民生活部長、藤原子育て健康部長、 林田都市デザイン部長、東教育・こども部長、辻生涯学習部長、 近藤上下水道部長、式森消防長、森行政委員会事務局長、井阪議会事務局長 【事務局】 (政策企画室) 門林政策企画室長、福田企画経営担当課長、奥山総括主幹、江口主査、田嶋政策・資産 マネジメント担当課長、加藤総括主幹、伊賀主事 (人事課) 尾郷市長公室次長、山口課長、井阪課長補佐 (財政課) 佐々木総務部次長、左海課長、川野課長補佐 (有限責任監査法人トーマツ) 増田
会議の議題	1. 第2回定例会での協議会報告について 2. 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について その他
会議の要旨	第6次総合計画及び次期創発プランの骨子案について、内容確認及び意見交換し、6月10日までに修正を反映のうえ、第2回定例会 3 常任委員会協議会へ報告することとした。 第6次総合計画の将来都市像については、2番目の案を採用することとした。 また、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について策定スケジュール等を共有のうえ、本日の資料を第2回定例会 3 常任委員会協議会へ報告することとした。
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)

事務局	【前回の振り返り】 (事務局【政策企画室】から、前回の振り返りについて説明) 質疑等はなかった。
事務局	【次第1 第2回定例会での協議会報告について】 (事務局【政策企画室】から、資料1・資料2について説明) 総合計画骨子案について次のように質疑等があった。
辻部長	○総合計画骨子案の「本市をとりまく時代潮流」について、地域コミュニティの希薄化に関して言及していただきたい。将来都市像候補の2つ目の案や基本目標3の内容とも結びつく考える。
事務局	○記載する方向で検討する。
西川福祉部長	○26ページの市民の総合満足度・推奨度について、回答者の年代に偏りがあることも考えられるのでクロス分析を示した方がよいのではないか。 ○1ページ中段の記載について、「今後人口は大きく減少し～」と3行後の「今後、本市をとりまく社会経済環境は～」とで「今後」という表現が続いているので、どちらかを削除した方がよい。同じく、4ページの(3)・(4)について、それぞれ「の」・「への」と記載されており、統一を図っていただきたい。
事務局	○クロス分析の記載や文章表現について確認のうえ修正する。
森吉副市長	○本策定委員会において将来都市像を決定するのか。
事務局	○将来都市像については、アンケートや学識者ヒアリングを踏まえて候補案を作成している。なお参考まで、事前に市長の意見を聴取したが、策定委員会の決定に委ねたいとのことだった。
土本部長	○将来都市像の上から3番目の案について「らしさ」という記載がある。「自分らしさ」と認識されるなら良いが、「男性らしさ」「女性らしさ」など、前につく言葉によっては、ネガティブに見える可能性がある。
森吉副市長	○他に意見はないか。 ○参考として、市長からは5期目に対する思いとして、①遠回りせずにダイレクトに取組を進めていく、②税収を確保していく、③人の取り合いをしないということをお聞きして

	いる。③については、自治体間で子育て世帯を取り合うような状況が生まれているが、そういった取組をしなくても人が集まり、このまちを好きになり、本市で子どもを産み育てたいと感じてもらえるようにしていきたいとのことであった。その思いを踏まえると上から2番目の案が適当かと考える。これに対しての意見でもいいので、意見はないか。 特段の意見はなかった。
森吉副市長	○他に意見がなければ、策定委員会の意見として上から2番目の案を採用したいと思うがいかがか。
吉田副市長	○多様性の尊重といった視点からも、「らしさ」という記載ではない方がよいと感じるため、上から2番目の案でいいのではないか。
森吉副市長	○それでは、上から2番目の案「住めば住むほど好きになる ちょうどいいまち 和泉」を将来都市像として決定したい。 異議なしの声 次期創発プラン骨子案について次のように質疑等があった。
東部長	○まず、次期創発プランについて正式な計画名称はどのタイミングで名付け、対外的に示すのか。また、創発プラン骨子案3ページに朱書きで注意書きを記載しているが、11ページには黒字で「項目については今後、追加や変更となる場合があります」と記載されている。表現を統一しなくてよいか。
事務局	○次期創発プランの名称については、名付けを予定しており、素案提出までに確定するという想定である。
事務局	○取組事業の追加や変更に関する注意書きについては、表現方法を事務局にて検討する。
吉田副市長	○和泉診療所について、概ね7月までにあり方を検討していただきたいと所管部署に伝えている。次期創発プランに記載するためにはどのようなスケジュールで検討を進める必要があるのか、また、スケジュールに合わせて方向性の決定が可能かお聞きしたい。
事務局	○9月議会で財政収支見通しを示す予定である。そのため、和泉診療所にかかる事業規模を7月には一定整理いただき、事業費を積算いただきたい。
藤原部長	○和泉診療所のあり方については設置主体・運営主体について議論が必要であり、早急に結論を出すことは難しい。そのため、民設民営の可能性もありうるものの、公設営で行うことを想定して事業収支を算出していくことになる。

	【次第2 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について】 (事務局【政策企画室】から、資料3について説明)
森吉副市長	○総合戦略についてはいつの協議会で示すか。
事務局	○6月の協議会で資料3を用いて報告し、9月の協議会で素案を示す想定である。
森吉副市長	○総合計画・次期創発プランについて、修正があれば6月10日までに事務局に連絡いただき、その後の修正については私に一任いただきたい。協議会での報告は事務局から行うが、個別の内容については各部局で対応いただくことになるため、準備方よろしく願う。
吉田副市長	○これまで附属機関等にも多く出席してきたが、市民等から「和泉らしさ」はどこに表現されているのかという問いかけをいつもいただく。PRの機会でもあるため、現行計画や他自治体との比較等を行い、今までの取組を振り返ることで本市の課題や「和泉らしさ」、注力ポイントを把握した上で、議会や市民に対応していただきたい。
事務局	(事務局【政策企画室】から、連絡事項について説明) ○本日の資料について協議会に提出するため、各自確認をお願いする。 ○市民にも計画を手に取り、読んでもらいやすいものとするため、若手職員を対象に90分程度でデザイン決定のためのワークショップを開催したい。昨年度、総計策定のワーキンググループに参加いただいた職員を対象に考えており、今後事務局から打診するのでご協力をお願いする。
森吉副市長	○それでは、本日の委員会については以上とする。

以 上